南アルプス市介護福祉課

できる人が　できることを　できる時に

南アルプス市では、86ある自治会のうち54の地域に「第３層」協議体が設置され、身近な地域で、住民の手でできる助け合い活動が始まっています。市民の皆さんにPRするため新聞折込で全戸配布したパンフレットの表紙です。

朝の通学時間帯、上八田地区の小野さんが歩道に立っていました。
子どもたちの通学の見守りをしようという協議体の活動に、
「それなら自分もできるから」と参加しています。
この活動のために配られた蛍光のたすきをかけ、杖をついて、その時間だけ。
天気の悪い日は、道沿いの部屋の窓から子どもたちの様子を見守ります。

続けているうちに、子どもたちからも、あいさつをしてくれるようになり、
「おかげで私も元気をもらっている。自分の健康につながっているんです」と話す小野さん。
御年８７歳の背筋はまっすぐにのび、歩いていく子どもたちを遠くまで目で追うその姿は、
その先にある、地域の未来を見つめているかのようでした。

高齢者の暮らしを地域で支えることが目的の協議体・・・
でも今、このように、世代を超え、「支える」「支えられる」の関係を超えた多様な活動が、
市内のあちこちで始まっています。

支えあいの地域づくりは、地域の未来を、みんなでつくっていくことなのです。

地域支えあい協議体

南アルプス市保健福祉部介護福祉課　〒400-0395 南アルプス市小笠原 376　TEL055-282-7347